

学校教育目標	夢と志をもち 主体的に学び続ける児童の育成 ～自分だいすき 友だちだいすき ふるさと原だいすき～	経営理念	ふるさと原を誇りに思い、これからの社会をたくましく、主体的に生きるために必要な資質・能力を身に着けた児童の育成 信頼され期待される学校づくり ・児童が学ぶ喜びを感じる学校 ・教職員が主体的に職能を伸ばし、協働して組織力を発揮する学校 ・地域から学び、保護者・地域と共に歩む学校
--------	---	------	--

評価計画							自己評価					学校関係者評価		改善方策
項目	重点	中期経営目標	短期経営目標	目標達成のための方策	評価項目	目標値	達成値		達成度	評価	結果と課題の分析	評価	コメント	改善方策
							10月	2月						
確かな学力	1	主体的に学習に取り組む意欲と態度の育成	・基礎的・基本的な学力の定着を図る。	・原小「学びのスタイル」の定着返事(重点項目:話す、返事) ・四則計算の定着 ・家庭学習の充実と定着 ・図書室利用の推進	・原小「学びのスタイル」の「相手を見て話を聞く」「返事は『はい』」の項目が定着している児童80%以上 ・国語科・算数科単元テストの平均85点以上 ・図書の学年末の年間目標貸し出し冊数を達成している児童80%以上	80%								
						85点								
			児童の読む力の向上を図る。	・主体的に取り組むことができる国語科説明的文章教材の単元づくり ・一人一台端末を効果的に活用した交流の場の工夫	・確認テスト(市販)で全国平均以上の児童が80%以上 ・児童アンケートで主体的な学びに関する肯定的評価90%以上	80%	/							
						90%								
豊かな心・たくましい体	2	より良い人間関係を築く児童の育成	東広島スタンダードの定着(重点項目:挨拶・返事)による規範意識の向上 自己有用感を高め、社会性の基礎を育む。	・年2回挨拶強化週間の実施 ・生活目標の充実(朝の会で意識づけ、帰りの会で振り返りの実施。) ・縦割り班活動の機能充実(縦割り班掃除・縦割り班遊びの実施) ・相手の良さを認め合う学級づくり(他学年の児童の良いところの交流を行う。)	・気持ちのよいあいさつ・返事ができると回答する児童の80%以上	80%								
		健康でたくましい体の育成	運動意欲と体力の向上 基本的生活習慣の定着	・体育的行事等における目標をもった取組の工夫 ・チャレンジデー(ノーマディア)の実施(年8回)	・運動することが楽しいという児童90%以上 ・チャレンジデーの時間の使い方を工夫している児童85%以上	85%								
						85%								
信頼される学校づくり	3	学校と地域との協働による学校教育目標の実現 働き方に対する教職員の意識改革推進	コミュニティ・スクールの推進 地域と関わる学習の充実	・情報発信と情報収集による相互交流の推進 ・地域素材を生かした、生活科・総合的な学習の時間における単元開発及び改善	・保護者、学校運営協議会委員の本校教育に対する満足度90%以上 ・地域の人と関わってよかった。地域の役にたつたと考える児童90%以上	90%	/							
			90%											
			子供と向き合う時間の確保と働き方についての意識高揚	・業績評価書に業務改善についての目標(目標時間設定を中心に)の設定	・時間外労働時間月45時間以下の教職員の割合を85%以上	85%								

※目標の精選と重点化を行い、重点の項に「1」「2」「3」で表示する。

■自己評価

4...目標を上回って達成(105%以上達成) 3...目標どおりに達成(95%以上～105%未満)

■学校関係者評価

A...とても適切である B...概ね適切である

2...目標をやや下回って達成(80%～95%未満)	1...目標をかなり下回って達成(80%未満)	C...あまり適切でない	D...全く適切でない	(N...判定できない)
----------------------------	-------------------------	--------------	-------------	--------------